

事務事業名	南アルプス世界自然遺産登録推進事業				会計	一般会計	実施区分	継続
					事業種別	政策	開始	18 終了
H29作成課等名	環境課		H29係等名	環境保全係		H28担当課等名 環境課		
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
	施策	61	地域資源の発見・資産化					
目的	対象(誰・何を)	南アルプスに関する市町村民 南アルプスに係る地域				指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	南アルプスの価値を知ってもらい 世界自然遺産に登録され、自然が保全される				飯田市人口(人)		100957
	向上させたい上位施策の成果指標	活用できる状態の整った地域資産の数(累計)				関係するエリア(国立公園面積)(ha)		35750
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績 備考(指標変更など)
	成果指標	登録推進に関する活動へ参加する飯田市民数(人)			400	367	400	590
	定性目標	南アルプス世界自然遺産登録推進に向けた取組の一環として、ジオパーク、ユネスコエコパークの取組を通じて地域・行政が一体となって推進活動を盛り上げ地域振興へ結びつける。						
事業概要	<p>南アルプス世界自然遺産登録推進事業</p> <p>①静岡県、山梨県、長野県内の3県10市町村による南アルプス世界自然遺産登録推進協議会活動(H19.2.28設立)</p> <p>②長野県内の関係4市町村による南アルプス世界自然遺産登録長野県連絡協議会活動(H19.1.29設立)</p> <p>③両協議会では、地球規模での顕著で普遍的な価値を有する南アルプスの保全に努め将来に継承していく</p> <p>④南アルプスの価値を高め、人類共有の財産とすべく相互に連携協力し、ユネスコエコパークの推進をするために活動を展開していく</p> <p>⑤平成26年6月にユネスコエコパーク登録認定。関係3県10市町村と足並みをそろえ南アルプスの保全と利活用を推進していく</p>							
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標	
	<p>1 長野県、静岡県、山梨県の3県協議会活動</p> <p>(1)総会、幹事会等の会議の開催</p> <p>(2)関係機関の支援を要請するための要望活動</p> <p>(3)推進協議会内のユネスコエコパーク推進部会により、ユネスコエコパークの推進</p> <p>(4)賛助会員対象の大会開催</p> <p>2 長野県連絡協議会活動</p> <p>(1)総会、幹事会等の会議の開催</p> <p>(2)学術調査の継続</p> <p>(3)南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク事業を推進</p> <p>(4)その他3県の協議会と協力しながら活動</p> <p>3 飯田市の活動:それぞれの構成員としての役割を果たすとともに、ホームページ等による意識啓発を実施</p>				<p>1 3県の会議開催数</p> <p>2 長野県の会議開催数</p> <p>3 啓発事業数</p>		<p>6回</p> <p>8回</p> <p>24回</p>	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,280	1,225	1,034	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,280	1,225	1,034				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,280	1,225	1,034	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年6月にユネスコエコパークに登録認定された。さらなる南アルプスの魅力の発信と利活用を目指す。							
改革改善の考え方	①問題点	南アルプスは、市民にとってまだ身近な存在となっていないことから、地道な啓発活動が必要 ジオパーク、エコパークなど事業が拡大している						
	②改革提案	協議会事業への賛助会員の参加を呼びかけたり、リレー展覧会などを開催することで、市民の皆さんに、南アルプスの魅力を知っていただくための機会の提供を行った						